



## タブレット端末をもって森に行こう！

### はじめに

タブレット端末が発売されてから一般にも広く普及し、低価格化と高機能化が進んできています。

カメラ、GPS、加速度センサーをはじめ、光センサー、スピーカー、マイク、磁気センサーなど様々な機能を搭載し、これらを活用した二百万以上のアプリが有志によって開発され、一般に公開されています。森林でのレクリエーションや林業、調査業務などの現場にタブレット端末をもっていくことで、コンパクトカメラ、ナビゲーション、測距儀など様々な専用機器をタブレット端末一台に集約して持ち運ぶことができます。

### 1 地図搭載GPS端末として

タブレット端末用GPS受信機の小型化や精度向上により、これを活用した「地図アプリ」が数多く公開されています。ハンディGPS端末では基本背景を自作したり、購入する必要がありましたが、「地図アプリ」ではネット環境を利用し、国土地理院や「Google」などが無料公開している背景画像を自動ダウンロードし、表示する機能を持っています。画面が大きいこと、動作が早いこと、端末自体がハンディGPSと比較して安い(二万円程度～)ことなど、ハンディGPSにはないメリットが数多くあります。

### 2 タブレット端末を持って森に行こう！

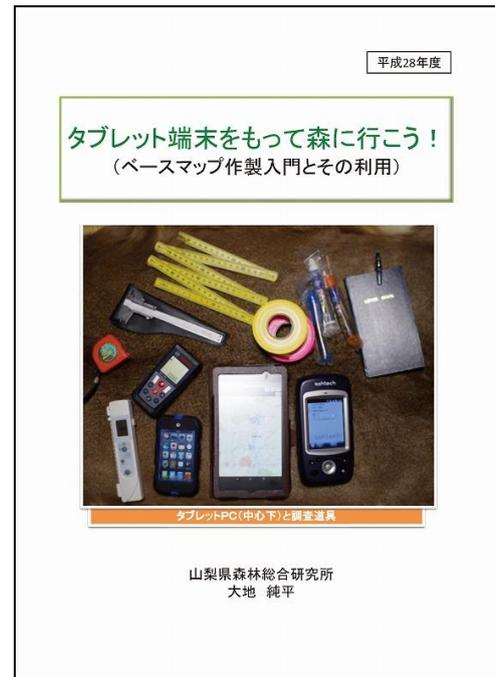
業務で「地図アプリ」を活用する場合、無料で公開されている背景画像だけでは対象地の絞り込みや、位置の確認が難しい場面が出てきます。そこで是非活用してほしいのが、作成した地図や図面をタブレット端末に取り込み、地図アプリで表示する「カスタムマップ」です。

カスタムマップは既存のデータを利用するだけでなく、紙図面や描き込みをした地図などをスキャナ等でデータ化して、座標付けなどの処理を行うことで作成出来ます。

カスタムマップの作成・利用方法については、マニュアル「タブレット端末をもって森に行こう！(ベースマップ作製入門とその利用)」で解説していますので是非ご利用ください。

マニュアルでは、①ベースマップ(カスタムマップ)の作成、②タブレットへのデータ入力、③現地データの取得と取り出しの手順を解説しています。

マニュアルは研究所にお問い合わせ戴くか、研究所 HP ([https://www.pref.yamanashi.jp/shinsouken/research/shigen/documents/tabmori\\_2017.pdf](https://www.pref.yamanashi.jp/shinsouken/research/shigen/documents/tabmori_2017.pdf)) よりPDFファイルをダウンロード戴けます。



マニュアル「タブレット端末をもって森に行こう！」

作成:山梨県森林総合研究所  
資源利用科  
大地 純平

連絡先  
TEL 0556(22)8001 FAX 05560(22)8002  
メールアドレス sinsouken @pref.yamanashi.lg.jp